

ほっかいっぱいみさきっ子

御前崎市立御前崎小学校 学校だより 令和2年度 4月号

令和2年4月から、御前崎小学校長として赴任いたしました「仁平美和子」です。
平成26・27年の2年間でしたが、教頭として御前崎小学校に勤務しておりました。
歴史ある、そして大好きな御前崎小学校に再び勤務することができ、たいへん光栄に思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

3月の全国一斉臨時休校に始まった、コロナウィルスによる世界的危機という、未曾有の状況下での、令和2年度の始まりです。始業式では、子どもたちに次の話をしました。

～前略～

今、世の中で起きていることは、大人が誰一人経験したことのないできごとです。

「予測できない未来」です。「予測できない未来」にはよいこともあります。宇宙旅行や自動運転など、私が子どもだった頃には全く予測できませんでした。でも、今起きているコロナウィルスとのたたかいは、今までの知識や経験だけでは役に立ちません。必要なものは、今までの経験や知識を使って、新しい知恵や工夫を生み出すこと、いろいろな人と協力することです。

みなさんは未来をつくる人です。わたしたち大人にとって宝物・希望・かけがえのない存在です。未来をつくるみなさんが、今がんばることはなにか。

それは ちえ・くふう・きょうりよく 予測できないことがおきても、立ち向かえる力です。それは、どうやったら身につくか、毎日の一時間ごとの授業を積み重ねることです。そして、御前崎小の「みがきあい ささえあい きたえあい」と「ほっかいっぱい」がこれからの世の中にどうしても大切なものなのです。

ほっかいっぱいの一年にしましょう。

そして、始業式出合いの翌朝、まさに「ほっかいっぱい」な場面に遭遇しました。

「失礼します！えっと、自己紹介に来ました。」



朝、校長室のドアをノックする音がしました。開けてみると、2年生が4人でニコニコ立っています。自己紹介に来てくれたそうです。

また、次の休み時間は5年生が息せき切って来室し、「始業式のお話のがんばることの3つ目をもう一度教えてください」とお願いされました。「その時使った紙があるから、これをどうぞ」と渡しました。その5年生の、とても素敵な姿を見つけました。



臨時登校日の下校風景

ノートの入った重い段ボール箱をヨイショヨイショと持っていた2年生を追い抜きざま、「持ってあげるよ」とごく自然に代わってあげていたのです。2年生は戸惑いながらも「ありがとう」。本当にやさしさいっぱいの子どもたちです。

朝の正門で、「校長先生！だあいすき」とハグしてくれた子。「〇〇くんのみがきノートがすごくよかったです」と教えてくれた子、たった数日の出合いでも、幸せな瞬間がたくさんありました。

日々刻々と変わる状況の中ですが、職員一丸となり、保護者や地域のみなさまのお力をお借りして、その時々最適解・納得解を探してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。